

鉄道ピクトリアル

1967年10月号 Vol. 17 No. 10

<寝台客電車特集>

星は座席車に早変わりする国鉄初の寝台電車の誕生を機に、寝台客車とその運用などを総ざらいして特集した

表紙 「昼夜に使える寝台電車」(モハネ581) 編集部撮影
 カラー頁 「レーティシェ鉄道 アロサ線の列車」 本島三良撮影
 グラフ

<寝台客電車特集>

581系 国鉄交直両用特急形寝台座席電車	国鉄広報部・谷雅夫・編集部	12
近代化された 寝台客車	国有鉄道 提供	16
寝台の旅 はやぶさの夜と星	杉行夫・杉浦一郎	18
消えゆく SL 常磐線・日豊本線	岸幸男・平瀬清隆	11
本線に支線に (第12回鉄道写真コンクール入賞作品)		
発進	堀越庸夫	43
真夏のローカル線	玉木正之	44
信濃の86	金子元博	45

1967.9.14 岩田地下鉄東西線大手町—東陽町間開通

わだいのくるま (174) 新系列ディーゼル動車量産試作車誕生	石井幸孝	48
寒い朝 (第12回鉄道写真コンクール入賞) (解説74頁)	庄野鉄司	50
わだいのくるま (175) ED77 形式交流機関車	栗田志朗	52
スイス鉄道素描	本島三良	54

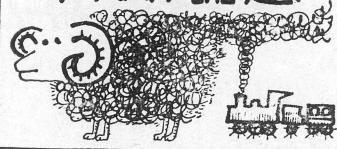
トピックフォト

大分電化特報、関東・中部北陸・関西・東北北海道などより

本文

<寝台客電車特集>		
国鉄42年度第2次(10月)時刻改正	荒井仁	4
42年10月改正に伴う寝台電車の運用について	村井輝夫	7
ヨーロッパの寝台車	石井幸孝	10
新しい寝台電車—581系特急形交流直電車	加藤亮	19
国鉄寝台車物語	向田幸一郎	24
42年10月1日からの国鉄寝台車の配置と運用	石本文昭	29
進駐軍寝台車抄	太田勝	32
寝台車『よもやまばなし』	豊田茂	34
10月ダイヤ改正と機関車配置替について	浪岡貞弘	36
今月の話題・全国に新幹線網		3
書評⑧「新日本鉄道史」	和久田康雄	38
資料・日本の私鉄 [16]	和久田康雄	39
ED77形式交流電気機関車	栗田志朗	59
スイスの鉄道印象記	本島三良	60
地下鉄東西線大手町—東陽町間開通	里田啓	64
42年度私鉄車両増備計画について	松田逸雄	68
鉄道の話題		74
質問に答える		75
車両の動き		77
読者短信		79
8月のメモ帳		82
歌でつづる鉄道百年 [8] 大正・昭和編(4)	高取武	91
TTKだより・後部車から		95

今月の話題



カット 土屋 昭雄画

全国に新幹線網計画

国鉄は大都市への人口集中を防止するため、今後全国の幹線鉄道網、首都圏の高速鉄道網をどのように整備すればよいかの「都市問題と鉄道対策」を検討していたが、昭和60年ごろを目途とした『20年後のビジョン』をまとめて、8月31日発表した。

計画を一言にまとめると、北海道から鹿児島まで日本全土を縦断する新幹線網をつくり、これに主要都市を結びつける構想。とくにビッグビジネスタウンの東京には半径100キロの首都圏通勤新幹線6本をつくるというもの。

すなわち、東京—大阪間を結ぶ東海道第2新幹線(いすれも仮称)をはじめ東北新幹線、さらに延長して北海道新幹線。またいま建設中の山陽新幹線の岡山付近から四国新幹線、裏日本では上越・裏日本縦貫新幹線と北陸新幹線・山陰新幹線。このほか九州の3ルートなども含まれ、総延長は約4,000キロにおよび、運転速度は最高250キロ、建設費は約3兆9,000億円と試算される。

首都圏の通勤新幹線は成田・水戸・宇都宮・高崎・甲府・小田原の6本のルートが計画され、これらの都心部のターミナルは東京駅付近・皇居前広場・新宿副都心で、いすれも地下駅。総延長は520キロで建設費は9,000億円。

これが全部完成するのは昭和60年だといふから先の長い話であるが、暗い話題の多い昨今、なんと明るい話ではないか。また、資金もケタ外れに大きいが、なんとしてでもこの計画は実現してほしいものだ。この新幹線網計画は、日本国民の身近で、しかも大きい夢となろう。

〔表紙〕「昼夜に使える寝台電車」 編集部

モハネ581形室内 日本車輌蕨工場
 '67-8-26

ゼンザブロニカS2 ニッコールF3.5 絞り11
 タイム1/100s エクタクローム

〔カラー頁〕「レーティシェ鉄道
 アロサ線の列車」 本島三良
 スイスレーティシェ鉄道 Rh B-486
 '67-5

マミヤプレス セコール F3.5 絞り8 タイム
 1/250s エクタクローム

TETSUDÔTOSHO KANKOKAI
 New Kokusai Bldg. Marunouchi
 3-4, Chiyodaku, Tokyo/Japan